

内藤幸男と座間の未来を考える会

市政ドリル 第28号



責任感

郷土愛

情熱



1年間大変お世話になりました。令和2年も皆様の身近な存在として頑張ってお参ります。

問1

新たな納税方法としてモバイル決済サービスが導入されますが、本市が導入する決済サービスは？

- ①Apple Pay ②LINE Pay ③Pay Pay ④楽天 ペイ

問2

モバイル決済サービスはいつ頃から利用開始予定か？

- ①令和2年1月1日 ②令和2年4月1日 ③令和2年9月1日
①令和2年1月1日

令和元年
第4回定例会

モバイル決済サービスを導入



*イラストはイメージです

LINE Pay

今定例会では公金収納に対する電子マネー、キャッシュレスに対応するシステム改修費の補正予算が組まれました。本市ではこれまでもペイジーによるインターネット支払いやクレジットでの支払い等、進められてきました。

今回新たに導入されるモバイル決済サービスは「LINE Pay」で、個人市県民税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の普通徴収分・軽自動車税・固定資産税・都市計画税・児童ホーム手数料・水道料金および下水道使用料等の支払で利用可能ということです。

モバイル決済サービス「LINE Pay」は、時間と場所を選ばずに簡単に決済ができ、納税者の利便性向上を実現するだけでなく、期限内の収納率向上、行政内部の効率化を同時に実現できるメリットも期待されます。なおサービス利用開始は4月1日を予定しています。

確かな一歩の積み重ねで座間市の未来へつなぐ。

答え 問1 ②、問2 ②

内藤幸男と座間の未来を考える会

☎090-6107-3467 〒252-0028 座間市入谷東3-8-23

✉ zama@naito-yukio.com



内藤幸男

検索

討議資料

自民党

会派（自民党・いさま）視察

沖縄県糸満市・海上自衛隊沖縄基地隊・宜野湾市

糸満市 市民活動支援センター まちテラス

糸満市の「市民活動支援センターまちテラス」は、市民と行政の協働のまちづくりを推進するための中間支援を行うために設けられたセンターです。

- ①市民活動団体の情報収集・発信
 - ②協働のまちづくり支援プログラムの開発・推進
 - ③市民提案型まちづくり事業の運営・推進
 - ④市民活動団体や個人の支援・相談
- 以上のような業務を担っています。

協働のまちづくり支援プログラムでは、10代から60代の市民を集めての会議を開き、意見を抽出。その意見を次期総合計画の参考にしてもらうため、直接市長に届けたり、市の経営をイメージするための対話型シュミレーションを実施するなど、市と市民が将来に向けた課題を一緒になって考えられる取り組みを展開しています。

このような取り組みにより、まちづくりに興味を持つ方が増えているようで、市民提案型まちづくり事業の申請数は、平成29年度9件、平成30年度12件、平成31年度15件と右肩となっています。

本市でも第四次総合計画で協働のまちづくりを掲げ、市民と行政の協働のまちづくりを推進しています。しかし、相互提案型協働事業に関して申請数はここ5年間横ばいで、新規団体もあまりない状況です。

今後の協働のまちづくりを考えていく上では、ユニークなアイデアを持った民間の力を活用していく事も有効だと感じましたし、多くの方にまちづくりに興味を持ってもらうためには受け身の体制でなく積極的な仕掛けがポイントだと感じました。



YouTubeを使った動画配信やSNSを積極的に活用しており、民間ならではの企画とスピード感で広く市民の皆さんへのPRを実施しています。

海上自衛隊沖縄基地隊



日本最南端の艦艇支援基地である海上自衛隊沖縄基地隊では、基地の概要や爆発性危険物の処理状況、尖閣諸島問題に対しての海上保安庁との連携した対応、地域との交流について話を伺った後、水中処分母船の乗船や水中処分隊の見学等をさせていただきました。

爆発性危険物処理(戦中時の水中などにある不発弾処理)では、ピーク時には年間60トンもの不発弾を処理されていたそうで、まさに国家の最大責務である「国民の生命と財産を守る」ために、危険な任務を遂行されていると感じました。

宜野湾市 英語教育特区

宜野湾市は平成16年から小学校で英語科を新設し、英語教育特区として文部科学大臣の認定を受けています。

特徴的だったのが、英語を教える教職員の研修を米軍基地内のアメリカンスクールで実施していることです。実際にアメリカンスクールの先生等と一緒に研修をする事で、教職員が英語力を試す機会にもなり、活発な交流が教職員の自信向上につながっているということでした。

本市にもキャンプ座間があることから、12月の定例会では宜野湾市の事業を例に出し、地域特性をいかした英語教育について一般質問をさせていただきました(3面)。



第四回定例会一般質問と答弁の主な内容



内藤幸男 議員

12月9日の一般質問では、「文化財の保存と活用」、「地域特性をいかした英語教育」「小中学生の防災教育」について質問をさせていただきました。以下主な質問と答弁の内容になります。

◆文化財保存活用地域計画について

文化財保護法が改正され、文化財保存活用地域計画について策定が可能となった今、本市としてはどのように考えているのか？

【教育長】 神奈川県は令和元年11月に「神奈川県文化財保存活用大綱」を策定し、今後の文化財の保存・活用に基本的な方向性を示したところです。本市としては県が策定した大綱の内容を勘案しつつ県内各市町村の文化財保存活用地域計画の策定状況を注視してメリットや必要性等を見極めたいと考えています。

◆災害における文化財の対応について

これまでの本市の文化財等の被災状況を伺うと共に災害における文化財の対応についてどのように考えているのか伺います。

【教育部長】 これまでの指定文化財の被災の多くは天然記念物の枝倒れとその落下です。本市では「座間市指定文化財保存管理奨励交付金」として比較的大型の4樹木に対して、損害保険料同等額を交付し、周辺環境への被害に備えている他、被害があった樹木に対して緊急治療や精密診断等を実施しています。

天然記念物(樹木)の対応については分かりましたが、今後石造物の被災も十分に考えられます。石造物の文化財についてはどのように考えていますか。

【教育部長】 現在教育委員会で指定している石造の文化財は7件で、天然記念物と同様に座間市指定文化財保存管理奨励交付金を支出しています。なお、東日本大震災の際は重要指定文化財の点検をし、被害が無いことを確認しています。

◆座間市と米軍の交流事業について

座間市と米軍の良好な関係が築かれる中で、交流事業について市長の考えや思いをお伺いします。

【市長】 現在本市ではチャリティゴルフ大会や米軍軍楽隊のクリスマスコンサートを実施している他、市内小学校とアーン小学校の交流も定着してきています。アメリカの皆さんとこのように身近に接することができるというのは非常に大きなチャンスだと思います。英語というのは国際的に一番通用する言語であり、これをきちんと身につける機会をつくる、そしてそういうチャンスを生かすことは子ども達の教育にとっても非常に大きな意義があります。今後相互理解が深まる機会を積極的に創出していきたいと考えています。

◆米軍基地内での教員の研修について

宜野湾市では英語力やALT(外国語指導助手)とのコミュニケーションに不安を持つ教職員のスキルアップや自信に繋げるため、米軍基地で教職員の研修を行っているということです。基地のある本市として宜野湾市のような取り組みをどのように捉えるのか教育長の見解を伺います。

【教育長】 同じく米軍基地のある自治体として宜野湾市の取り組みは大変参考になります。本市では今年度もアーン小学校と栗原小学校の交流が行われ、アーン小学校の職員や引率保護者との連携も深まっていることを感じています。今後はこの輪をより広げていけないかを検討しているところです。市の施策として様々な交流事業が進む中で、宜野湾市のように基地内における教員研修の機会が得られることは好ましいことだと考えています。

◆イングリッシュキャンプについて

横須賀市や山口県岩国市が開催しているような児童・生徒を対象にしたイングリッシュキャンプのような取り組みについても見解を伺います。

【教育長】 児童生徒が自然な場面で英語を使い、授業で学んだことを生かす機会として、イングリッシュキャンプのような事業は効果的であると考えます。本市でも今後市内のALT全員を1日1つの小学校に集め、学年ごとに様々なアクティビティでALTと触れ合う「イングリッシュデイ」の計画を進めたいと考えています。

◆小中学校で実施している訓練の成果は

ジュニア防災検定やDIG訓練(災害図上訓練)、シェイクアウト訓練による成果を伺います。

【教育長】 ジュニア防災検定は3校の児童生徒が受験しており、防災の知識が向上していることや家庭の防災意識を高められています。また、DIG訓練ではマップの作成を通して、地域の安全性や危険性などの認識ができ、防災意識を高めることができています。さらにシェイクアウトについては市内17校の小中学校で毎年実施しておりますが、積み重ねの訓練で「DROP(まずひく)」「COVER(頭をまもり)」「HOLD ON(動かない)」の3つの安全確保行動が速やかにできるようになっています。

◆避難所運営での中学生の協力体制とは

自治会役員研修大会の際に避難所運営においてこれから地元中学生の協力体制を整えていくという話がありましたが、どんなことを考えているのか伺います。

【教育長】 座間市自治会総連合会から座間市地域防災計画による避難所開設の際、中学生にこの事項に関心を持っていただくこと、さらに参加して頂けないかとのお話を伺っています。実際に災害にあった時を想定し、日頃からの訓練は必要になってくることは考えられます。今後、地域、自治会などどのような形で訓練していくか考えて行きたいと思っています。

今年1年こんな活動をしてきました！

1月 自民党・いさま視察

埼玉県深谷市で「マイナス入札」、群馬県桐生市で「認知症初期集中支援チーム」等について視察してきました



2月 メルカリ社長室長講演

中学の同級生であり、(株)メルカリの社長室長を務めていた唐澤俊輔氏を招き講演会を実施致しました



3月 地域のお祭り

ふれあいまつりでAEDや心臓マッサージの実演をさせて頂きました



4月 選挙応援

近隣の同志議員等の選挙応援をさせて頂きました



5月 大風まつり

大風まつりでは、わんぱく相撲の運営をさせて頂きました



6月 自民党青年局一斉街頭

北朝鮮に拉致された日本人の早期全面解決を訴えさせて頂きました



7月 消防団操法大会

ポンプ車操法部門で1分団1部の指揮者を務め、個人賞を受賞しました



8月 ひまわりまつり

今年も座間市のPRのため、ひまわり王子&王女コンテストを開催しました



9月

総合防災訓練に積極的に参加しています
防災力を高めるための取り組み



10月 災害ボランティア

相模原市や千葉県富津市などで出来る限りボランティアに参加してきました



11月 日台の歴史を継ぐ

高座海軍工廠と台湾少年工の歴史を後世に継ぐための講演を実施しました



12月 未来を切り拓く

未来を切り拓くため、これからも熱意を持って挑戦し続けます！



後援会へのご加入も随時募集しております。お電話090・6107・3467もしくはメール zama@naito-yukio.comにてご連絡ください。またご要望なども気軽にご相談ください。